

主要経済指標等 (2012年)

- 人口 .....481万人
- GN I 総額 .....445.45億ドル
- GN I 一人あたり .....8,850ドル
- 経済成長率 .....5.1%
- 失業率 .....7.6%
- 対外債務残高 .....144.58億ドル
- 援助受取総額 (支出純額) .....0.33億ドル
- D A C 分類 .....高中所得国
- 世界銀行分類 .....iv / 高中所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対コスタリカ援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009年度	-	17.20	6.60(6.50)
2010年度	-	1.62	4.92(4.81)
2011年度	-	0.95	5.42(5.09)
2012年度	-	1.18	3.35(2.97)
2013年度	560.86	0.77	4.60
累 計	1,222.41	55.64	218.32(216.07)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDG s) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	8.5%(1990)	3.1%(2009)
●目標2: 初等教育における純就学率	87.5%(1990)	91.3%(1996)
●目標3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	0.99人(1990)	0.99人(2011)
●目標4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	16.9人(1990)	9.9人(2012)
●目標5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	38人(1990)	40人(2010)
●目標6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	-	0.02%(2011)
●目標7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	93.1%(1990)	96.4%(2011)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

コスタリカに対する我が国ODA概要

1. 概要

コスタリカに対する我が国の経済協力は、1973年の青年海外協力隊 (JOCV) 派遣取極の締結、1974年のJOCV派遣開始、および同年の有償資金協力「カルデラ港建設計画」の交換公文締結に始まる。その後、1989年度から草の根・人間の安全保障無償資金協力を開始した。現在は有償資金協力および技術協力を中心とした協力を実施している。

2. 意義

我が国の環境分野での先進的な技術を活用した同国に対する支援は、気候変動問題への対処における重要国との連携を推進する観点から意義が大きい。また、中米地域において経済的・社会的に比較的安定した同国への支援は、二国間関係の深化に加えて、地域統合を通じた域内の安定と発展の促進に資する。

3. 基本方針

環境分野を中核とした持続的発展への支援を基本方針とする。2010年に発足したチンチージャ政権は「国家開発計画(2011-2014)」の中で、「環境保全と持続可能な開発」、「競争力強化とイノベーション」、「社会福祉」および「治安対策」の4分野を重点課題として掲げている。このうち、我が国は気候変動対策を含む環境問題への支援を中核としつつ支援を行う。そのほか、産業振興への支援、貧困地域住民や障がい者といった社会的弱者への支援の実施にも努める。

4. 重点分野

- (1) 環境問題: コスタリカ政府の国家開発計画のうち、「環境保全と持続可能な開発」への取組については、クリーンエネルギーの開発や電気自動車の普及などを通じ、「カーボン・ニュートラル」の2021年までの実現を目指しており、同分野において先進的な技術・知見を有する我が国として積極的に支援を行う。
- (2) 産業振興: コスタリカは中米諸国の中でも社会経済状況は比較的安定しているが、持続的成長のためには引き続き製造業、サービス業および農林水産業の分野での産業振興が課題となっている。このため、国内企業の98%を占める中小企業に着目し、その育成・発展を目指した支援や地方の地場産業の生産性向上に資する支援の実施に努める。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年~2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。  
( )内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

# コスタリカ

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細 (表-1 の詳細)

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011 年度	なし	0.95 億円 ・草の根・人間の安全保障無償(10 件) (0.95)	
2012 年度	なし	1.18 億円 ・国営ラジオ・テレビ局放送機材整備計画 (0.72) ・草の根・人間の安全保障無償(5 件) (0.46)	
2013 年度	560.86 億円 ・グアナカステ地熱開発セクターローン (560.86)	0.77 億円 ・草の根・人間の安全保障無償(9 件) (0.77)	・参加型生物多様性保全推進プロジェクト [13.04~17.03]
2013 年度 までの累計	1,222.41 億円	55.64 億円	218.32 億円(216.07 億円) 研修員受入 1,984 人 専門家派遣 541 人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011 年度以降に開始され 2013 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [ ] 内は、協力期間。

表-3 我が国の対コスタリカ援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合計
2009年	50.96	0.81	6.53	58.29
2010年	38.35	19.13	6.26	63.74
2011年	-10.50	1.74	5.92	-2.84
2012年	-15.46	1.60	5.44	-8.43
2013年	-12.75	0.47	3.93	-8.35
累計	56.25	51.46	193.10	300.81

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協력에計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。( )内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。  
 2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、コスタリカ側の返済金額を差し引いた金額)。  
 3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。  
 4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対コスタリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		うち日本	合計
2008年	ドイツ	30.88	日本	25.96	スペイン	17.45	米国	8.47	フランス	7.06	25.96	102.60
2009年	日本	68.97	ドイツ	18.36	スペイン	11.25	米国	7.49	フランス	5.09	68.97	123.76
2010年	日本	79.36	米国	28.93	ドイツ	24.20	スペイン	7.07	フランス	5.13	79.36	151.84
2011年	日本	19.04	米国	13.28	ドイツ	11.91	スペイン	6.52	フランス	3.71	19.04	61.02
2012年	日本	13.43	ドイツ	12.43	米国	11.74	フランス	5.38	カナダ	1.87	13.43	50.23

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対コスタリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
2008年	EU Institutions	5.86	UNHCR	2.18	IDB Sp. Fund	2.05	UNTA	0.74	UNDP	0.73	2.33	13.89
2009年	EU Institutions	6.77	GEF	5.65	IDB Sp. Fund	2.66	UNDP	1.21	UNHCR	0.92	1.57	18.78
2010年	EU Institutions	4.23	GEF	3.27	IDB Sp. Fund	2.98	UNDP	0.97	UNHCR	0.85	1.84	14.14
2011年	GEF	8.50	IDB Sp. Fund	2.51	EU Institutions	1.89	UNICEF	1.17	UNFPA	0.65	0.83	15.55
2012年	IDB Sp. Fund	4.26	EU Institutions	3.88	GEF	3.37	UNICEF	0.87	UNFPA	0.76	0.75	13.89

出典) OECD/DAC

- 注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 2013年度実施協力準備調査案件

案 件 名	協力期間
グアナカステ地熱開発事業準備調査	11. 7~14. 3

出典) JICA

## コスタリカ

表-7 2013年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案	件	名
サン・ルイス小学校施設改築計画		
コスタリカ赤十字救急車整備計画		
ブランコ国立老人病院整備計画		
チプレセス地区幼児教育及び栄養摂取総合ケアセンター拡張計画		
オロティナ市障害者ケアセンター増築計画		
バルベルデ病院医療機材整備計画		
マックス・ペラルタ病院医療機材整備計画		
ロス・ハルディネス多目的館建設計画		
ロス・アンヘレス小学校多目的館建設計画		

# 主なプロジェクト所在図

## メキシコ、中米諸国、パナマ

